

日時 令和6年5月24日
13時30分～

令和6年度 大阪府立日根野高等学校第1回学校運営協議会

進行 教頭 川瀬 治彦
記録 講師 藤原 由梨

1. 校長挨拶

2. 協議会委員及び事務局員紹介

1) 協議会委員（出席者）5名

泉佐野泉南医師会看護専門学校	副学校長	西田 好江 様
ひねのこども園	園長	神藤 吉伸 様（遅参）
泉佐野市立日根野中学校	校長	古谷 秋雄 様
イオンモール日根野	ゼネラルマネージャー	横倉 実可 様
大阪府立日根野高等学校	後援会役員	水上 寿香 様（欠席）
大阪府立日根野高等学校	PTA 会長	庄司 直生 様

2) 事務局員（出席者）10名

校長	山本 好男
教頭	川瀬 治彦
事務長	松元 敏行
首席	栗原 重彦
首席	矢萩 友之
教諭（教務部長）	大土 渡
教諭（生徒指導部長）	木藤 耕平
教諭（保健総務部長）	山口 清美
教諭（進路指導部長）	堺 花野
講師	藤原 由梨

3 実施要項の確認

- ・任期2年、今年から

4 協議案件

1) 協議会会長の選出

- ・会長に、PTA 会長（庄司氏）、副会長に、ひねのこども園園長（神藤氏）を選出

2) 令和5年度学校経営計画及び学校評価

3) 令和6年度学校経営計画（案）

- ・自己評価、目標など（別紙参照）

○日根野高校入試の倍率【1.09】

○先生の共通理解→力をいれるのは授業。その他、授業アンケートの実施し高結果に。

○思考判断表現について→右肩上がり

○進路→医療・看護、幼児保育が多い。

課題点として難関大学への進学を増やす取り組みを行う

○クラブ加入率→右肩下がり。今年は歯止めがかかっている可能性がある

○働き方改革→残業時間をわかるようにしている

<委員>遅刻が減ったのはどのような方法か

<回答>生徒指導部中心に減らす活動としてメロディーチャイムの導入
「遅刻0の日」の導入 ⇒ 遅刻数が3割減

4) 各分掌より報告

【進路指導部より】

- ・35期生合格状況 ⇒ 95%進学（55%は大学、数名就職）
- ・産近甲龍の合格者増
- ・共通テストの受けた人が増加したり、総合型選抜での合格も多くなったりしているの
その対策に力を入れて指導していく
- ・新しい取り組みとして1年生の大学見学、病院見学等

5) 質疑応答・意見交換

<委員>南海福祉の受験者はいるのか

<回答>受験者全員保育科

<委員>学校見学の感想とかを聞いたりするのか。

<回答>見学会へ参加した生徒にはアンケートを行っている

<委員>合格後卒業までに授業見学を実施しており多くの生徒が参加してくれているので
専門学校側としてもどのような生徒なのか分かるので助かる

<委員>人権教育や、豊かな人間性を育てるためにどのような取り組みをしているのか

<回答>情報モラルやLGBTQ+、就職差別に関して、教科外で行っており、探究的な活
動を増やしている

<委員>部活動の加入率の低下について今後どのような取り組みをするのか

部活動の場は上下関係であったり、貴重な学びの場になったりしていて、生徒が
加入していないのが勿体ない

<回答>そもそも生徒が厳しさ等を求めている

部活まで手がまわらない教員もあり、生徒との温度差がある

<回答>ハンドメイド部では、昔は自分たちで調理計画などをしていた

今はプロの方に来ていただいて指導して下さることで生徒も参加している

<回答>今の生徒の多くは自分で稼いでそのお金を自分に使っており、部活動よりかはア
ルバイトに興味がある生徒が多い

<回答>4月に新入生部活動体験を実施している。その中で色々な経験をさせている
また、ビラ配りなどで勧誘などもおこなっている

<委員>今年の1年の雰囲気は

<回答>タフな感じで落ち着いている

<委員>日根野中学校の部活動加入率が高いけど、賛成じゃない先生もいらっしゃる
不登校も問題であり、リモート、別室、フリースクール等で対策している

<委員>日根野高校の不登校の対応は

<回答>体調の悪い生徒や長欠の生徒についてはクラスルーム（配信）で対応

また、理由が分からない不登校も多く、支援委員会が対策したり、外部機関とも
連携したりしている

<委員>南海福祉専門学校等の看護ケアリングと連携できないか
例えば、大学の行事に参加するなど
そうすることで生徒の悩みも聞けるかもしれない

5 連絡事項

第2回→令和6年10月18日（金）14：30～（授業見学・協議）

第3回→令和7年 1月17日（金）15：45～